

No. 221

2022 NEW YEAR

JCP Ashiya City council report

日本共産党

芦屋市議団

news

今年も3人で
がんばります!!



2022年 新年号 発行 ● 日本共産党芦屋市議会議員団
住所: 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 電話: 0797-38-2047 (FAX兼) Eメール: a-jcp@helen.ocn.ne.jp

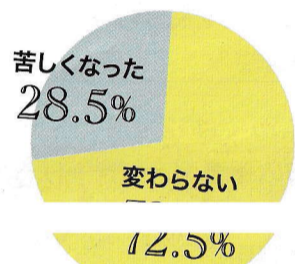
子育て世帯臨時特別給付金

15歳までの児童1人につき、10万円が一括給付されました(所得制限あり)。また、16歳から18歳までは1月から申請受付が始まり、順次支給されます。日本共産党は、12月議会の補正予算の審査でも一括給付を求め続けました。世論に押され、国の当初の計画とは異なり、一括給付が実現しました。ただし、対象が子育て世帯(所得制限あり)に限定され、多くの困窮する国民の支援には繋がっていないとして、日本共産党は国会でも追及しています(その後に、住民税非課税世帯への支給も決まりました)。(ひろせ)

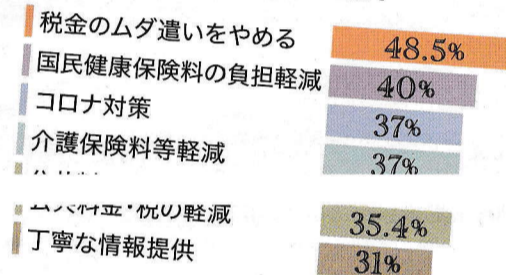
日本共産党市民アンケート ご協力ありがとうございました

コロナ禍での暮らしについて、約3割の方が「苦しくなった」と答えられるなど、市民生活の厳しさが示されました。市に求める具体的な施策では、国民健康保険料の負担軽減がトップで、党市議団としても4回の定例議会で連続して取り上げました。「丁寧な情報提供」を求める方も多く、市の現在の課題が示されたアンケート結果となりました。(ひろの)

Q. コロナ禍で暮らしはどうなりましたか?



Q. 行政に力を入れて取り組んでほしいことは?



※複数回答可での回答者率トップ6 (30%以上)

コロナワクチン接種

2回目接種後から8か月を目途に、接種が可能になります。対象者には2週間前に接種券が送られますのでご確認ください。会場は保健福祉センター(呉川町)で土日の午後、もしくは個別医療機関60か所で、いずれも電話かWEBでの予約です。

詳しくは市HPでも



JR芦屋駅
南地区
再開発

アンケートから見る市民の意識は??

市の提案する事業に賛成が約35%、別の手法を求める声が約17%、何もしなくても良い(今のままで良い)が約8%です。そして約40%の市民が、計画内容がよく分からないと回答しています。市は事業費縮減の努力をしていますが、再開発という多額の税金を投入する事業であるからこそ、駅を利用する多くの市民が理解・納得できるように市として努力すべきだと考えます。

脱炭素社会へ向け?

ごみの課題について 意見を出しませんか??

「一般廃棄物処理基本計画」のパブコメ(市民意見募集)が始まっています。芦屋市としての、ゴミ削減への目標などが示され、「脱炭素社会」という未来に向けてどう対応していくのか、市民生活に直接関わる「指定ゴミ袋の導入」も提案されています。(かわしま)

- 閲覧場所: 市役所等の公共施設および市HP
- 締め切り: 2022年1月25日(火)
- 提出方法: 窓口持参、郵送、FAX、メール

指定ゴミ袋ってどんなイメージ?

価格は一般的なゴミ袋の値段となる予定で、芦屋市として手数料を上乗せすることはありません。色・デザインは公募予定です。

その他にこんなパブコメも!!

- 環境処理センターの施設整備について 芦屋市単独で整備するごみ処理施設の計画です
- 地域福祉計画(第4次) 芦屋市の地域福祉の取り組みや目標をまとめた計画です
- 市立芦屋病院新中期経営計画 芦屋病院が地域医療として具体的な数値目標などを設定しています

意見募集
専用フォームは
コチラ



報告会

Date / 1月22日(土) 10時~
Place / 市民センター114室(公民館)
12月議会の報告です お気軽におこしください

相談会

Date / 1月26日(水) 18時~20時
Place / 市民センター208室
弁護士が同席します できればご予約を

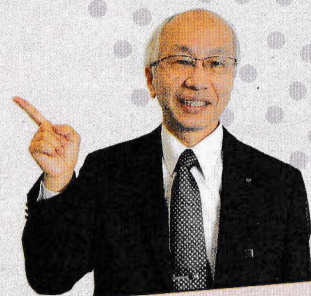
一般質問

気候危機への対応、国保料の負担軽減を

干ばつや豪雨など異常気象の多発にみられる「気候変動」は、もはや「気候危機」と言われる深刻な事態となっています。昨年開催のCOP26(※)では、その要因がCO₂排出にあるとして、「脱炭素」の必要性をあらためて確認しました。しかし、芦屋市の「環境計画」では一昔前の「低炭素社会」がうたわれているため、早急な見直しを求めました。また「危機」を市民と共有する「気候非常事態宣言」を提起しました。

国民健康保険料は、特に負担が重い低所得世帯への軽減がされるよう保険料算定の改善(応能割と応益割の割合見直し)を求めました。

※COP26=気候変動枠組み条約第26回締約国会議



Sadao Hirano

name : 平野貞雄

TEL / 0797(22)0248
E-mail / hirano4@nifty.com

Ayumi Kawashikma



name : 川島あゆみ

TEL / 070(5037)9134
E-mail / kawashima.ayumi.san.1453@gmail.com

南芦屋浜駐在所を廃止せず交番へ昇格を!

兵庫県警は、県内に3カ所ある復興住宅内の「都市型駐在所」を廃止する計画を示しました。芦屋市内では、今年3月までに南芦屋浜駐在所が芦屋浜の高浜交番と統廃合され、建物は「詰所」として利用される計画です。

地域の安全・安心の根幹を担う公共施設を、人口が増加しているエリアから無くすことは避けるべきです。市として、県に存続を強く要望することや、いずれ住民が要望している交番に昇格させるためにも、市有地の無償貸与も視野に入れるよう求めました。

高い保育料に悲鳴の声

保育所の保育料は、各自治体で設定ができ、本市では12階層に区分して設定されています。その区分をさらに分け、阪神間でも高い本市の保育料を引き下げよう求めました。「本

市は答弁。質が高いことを理由に、公的保育で高い保育料を求めるのはいかがか…交通課題についても取り上げ、奥池地域の通行料補助を求めました。年間車1台につき6万円の通行定期が必要なこの地域。若い世代も住めるよう補助を求めましたが、消極的な答弁でした。

●他に全幼稚園での3歳児保育・コミュニティバスの導入について



Kumiko Hirose

name : ひろせ久美子

TEL / 090(1951)0724
E-mail / kumikuma-50@zeus.eonet.ne.jp

連載
第1回

平野さん、 憲法ってむずかしいですか?



～この連載では川島議員が憲法について尋ねます～

憲法って何だか遠い存在に感じていませんか?
実は空気と同じで日頃はその存在を意識することはありませんが、暮らしのあり方を決める大前提になっています。

第11条は「この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利」と規定しています。

「生存権」をうたう第25条は「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」(第一項)と定めています。

この「最低限度」とは、もちろん動物的な意味でなく人間的なものでなければならず、第二項ではそのための国の責務を定めています。国には、「県・市」などの地方自治体も含まれます。



暮らしの中でも「自己責任」を強調するなど、公的責任よりも「自助・共助」を優先させる考え方(新自由主義)とは全く異なります。(ひらの)

朝日ヶ丘幼稚園跡 認定こども園開園の遅れ

朝日ヶ丘幼稚園跡に建設が進む「あいさい認定こども園」の開園が今年4月から6月に延期される見通しです。建て替え工事を進める中で、地中から予想以上の転石(写真)が見つかり、その除去も含め工事に大きな遅れが生じています。

保育園部に希望の園児は、翠ヶ丘保育園に仮入園し6月に移動します。幼稚園部は、県の認可が1年遅れになるため、希望の園児が6月から入園できるように行政も協議を重ねています。また民生文教常任委員会からも同趣旨の要望書を県に提出しています。(ひろせ)



編集後記

12月議会が終わってから、急いでニュースを発行しました(感想など、教えて頂けると幸いです)。この時期はいつも気ぜわしく、気が付いた

ら一年が過ぎているように思います。年賀状じまいをされる方もちらほら…年末年始の過ごし方も、変わってきているのかもしれない。